

今年もやります！お客様大感謝祭BBQ大会！



目印はこちらの五重の塔です

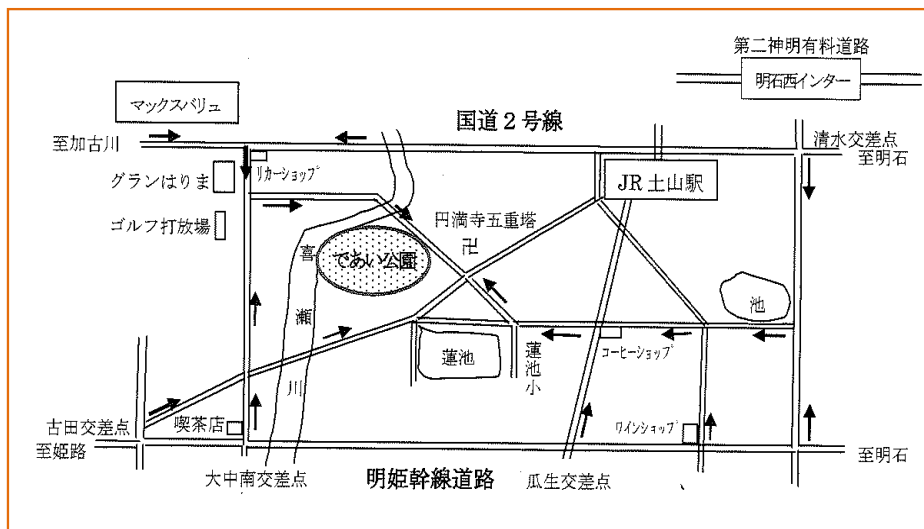
去年までは5月にさせて頂いておりましたお客様大感謝祭BBQ大会ですが、今回は日程がずれてしまい、すみませんm(_)_mまた去年までは加古川の河川敷が会場でしたが、駐車場とトイレの状況と、色んな用途の方々がこられています。去年は野球のボールが飛んで来ていたので、お子様にボールが当たったりしてもいけませんので、どこか良い所無いかなあ~と思ってお客様に聞いてみましたら、教えて頂きました！播磨町にあります野添であい公園パークセンターです。今回はこちらの場所をお借りして開催させて頂きます。こうしてお仕事させて頂けるのもすべてはお客様のお蔭です。本当にありがとうございます。心より感謝致しております。お子様も安心して遊べるとお思いますのでご家族そろって是非ご参加下さい！雨が降っても大丈夫なようにテントも用意します。なにぶん、加古川支社は私一人ですので段取りがありますからご参加頂けるお客様は事前にご連絡頂ければ幸いです。梅雨の時期ではございますが、気にせず一緒に楽しみましょう♪ あっ！まだ少し寒いかも知れませんが噴水がありますのでお子様は水遊びが出来るそうですので、水着もお忘れなく♪(^)

会場 野添であい公園パークセンター

日時 6月15日(日) AM11:00~PM2:00迄

会場住所 加古郡播磨町野添1920-2

※駐車場はコインパーキングとなっておりますので200円がかかります。予めご了承下さいませ。



SK加古川通信

第88号
平成26年5月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11



絆
願 日本復興
白矢公一

御用聞きのひとりごと・・・

家を建てさせて頂くT A様とT E様の工事は土地の都合ももう少し先になりそうです。内容は徐々に煮詰めて行っておりますのでご安心を♪ 7月末か8月頃ぐらいにはT E様邸の工事にも入れると思います。T A様邸の工事は土地造成中ですのでもう少し先になります。私は早く家を建てさせて頂きたくてウズウズしてるのですが(笑)こればかりはしかたないですね。工事が始まりましたらまたブログにて工事内容をUpして行きますのでよろしくお願い致します。(^^)さて、カンボジアから帰国して一ヶ月も経っていませんがFacebookでSKO孤児院の子供達が写真を送って来てくれて状況が確認出来ます。子豚ちゃん、少し大きくなってます。そして世話をしている子供にとてなついているのがわかります。写真を見ていると非常に売りにくい・・・ですが、これも生きて行く為の手段です。ブログに匿名希望の方から書き込みがありまして、子供達を働かせて可哀想では、とかなぜ豚なんか飼うんだ、衛生状に良くないとかそんなご意見もございました。木を見て森を見ず・・・なぜそうなったのか経緯も知らずその一部だけを見て判断する人々もいます。カンボジアの国ではこういった孤児院には国からの支援が一切ありません、日本の児童養護施設では国からの支援金があり、お金に困る事はありません、少し前にテレビで児童養護施設を取り上げた番組もあって色々な物議を交わされておりましたが、あれはあくまでテレビ番組であり、実際の施設で行われている事では無くあくまでもドラマですので視聴者あっての事で現実ではありません。そしてその物議とかさねて見られても実際に起こっている問題と私達が行動している事とは違いますので、同じように捉えて書き込みをされても、答えようも無く消去するしか方法がございません・・・過去ログにもカンボジア日記を記載させて頂いていますが悲しい事ですが、それもまだまだ自分が甘いのだと思い反省する事もございますが、私も弱い人間です。時に心が折れそうになる事もございますが、ご理解・ご支援・ご協力して下さる皆様がいるので、こうして活動に参加させて頂いております。本当にありがたく心から感謝しておりますが、私とていつ何時に支援活動が出来なくなる事もあるかもしれません、五体満足でいれる保証も永遠に生きている訳でもなく・・・もし、そんなことになって支援が出来なくなってもSKO孤児院の子供達が路頭に迷う事なく、警沢は出来なくても自分達で生きて行く為にはどうすればいいのか・・・その為のプロジェクトであり、スタートを切ったばかりなのです。私達はその方法の一つを教えて実行したに過ぎません。結果が出るまでにはまだまだ時間が掛かりそうですが、少なくとも子供達も嫌々やっている子は一人もおりませんでした。それは言葉が通じなくても子供達の行動を見ればわかります。ブログにはカンボジア日記として日々のご報告を写真付きで記載させて頂いておりますが、その子供達の表情から察して頂ければ幸いです。また、子供達も自分にも出来るんだと言う自信に満ちた笑顔を見る事が出来て本当に感動しました・・・SKO孤児院の子供達は親の愛情を知りません・・・私達が行った時に思いっきり甘えて来ます。私も2005年から見ている子もいて可愛くてしかたがありません、17歳や18歳になった男の子が赤ちゃんのようにすりよって来て抱き着いてきます・・・日本ではどうですかね・・・普段から一緒にいたらそんな事もないのでしょうか？私は愛情の飢えからの行動に見えます。年に2回か3回しか会う事は叶いませんが、せめて行った時くらいは精一杯甘えさせてあげたいと思っています。7歳になる男の子もいるのですが、大西会長の方にへばりついて離れませんでした。そんな姿に私は微笑ましいと思いつつもやはり悲しさを覚えました・・・本来なら自分の親と行動でしょう・・・今回は20日間という長期滞在になりましたが、そのぶん子供達とのお別れも辛く、日本に帰国してからもやはり子供達の事が気がかりでした。一緒に一から豚小屋を作り、日本の心優しい皆様から頂いた服を売るショップもオープン出来て共に充実した日々を送らせて頂いた事は本当に私にとっては財産であり永遠の心の中の宝物です。この施設の子供達は知っています。自分達は親の愛情には恵まれなかったけど、日本の国にたくさんの自分達を応援してくれている方がいて、そのお蔭で自分達が生活を送らせて頂いていることを・・・そして心から感謝しています。それが今回、一緒に豚小屋を作ったり服のショップをオープンさせる為に一緒に働いた事で実感させて頂きました。自分をアピールするかのよう一生懸命に働く子供達・・・本当にその姿に涙が出そうになりました。子供達にとってはそれが恩返しと言う事なのでしょう・・・そしてしっかりと子豚の世話をしています。お別れの日には一人の男の子が私のそばを離れませんでした。今度はいつ来てくれるの・・・と、その子の写真です。彼はインターネットカフェに行ったら私にメッセージを送って来てくれます。PAPA I MISS YOU と・・・正直、胸が引き裂かれる想いになる時もあります。飛んで行ってあげたいですけどね。こればかりは仕方ありません・・・カンボジアもどんどん近代化して行って色々な情報がインターネットの普及により広がっています。貧富の差も今以上にひどくなっているように思います。そんな中で、子供達はそれに対応できる大人に成長してもらわなければ生き残れないのです。生活保護もありません・・・今後共出来る限り事はしてあげたいと思いますが、私も日本の国にいてこちらでの日々の生活があり、またお客様から家づくりと言うお仕事を頂けるからこそこうしてカンボジアの国を訪れる事が出来るのです。お客様のお蔭です。そしてご理解・ご支援・ご協力して下さる皆様のお蔭です。そして自由に活動に参加させてくれる大西会長や会社のお蔭です。本当に心より感謝しています。いつの日かSKOの子供達が大きくなって社会に出て働き、そして「もう支援は結構です！私達でやって行けます！」と言う日が来るのを夢みながら、これからも活動に参加させて頂きたいと思っております。そして今回のプロジェクトが成功して少しでも子供達がお金に困る事無く楽しく生活を送り、そして親から愛情がもらえなかった分も幸せになって欲しいと心から思います。私自身も今まで以上に日々精進してお仕事も頑張りますので、皆様今後共よろしくお願い致します。

